

村田近良氏

勲五等に叙せられる



元地質調査所
測図課長
村田近良氏

技術部地形課

元地質調査所技術部測図課長村田近良さんが 昭和48年度春の叙勲で勲五等瑞宝章を授与されました。心からお祝いを申し上げます。 去る5月9日その伝達式が行なわれましたが そのあと調査所に見えられ 所長はじめ関係者にも挨拶されました。

村田さんは 現在中部日本鉱業研究所に籍を置かれ顧問として活躍されておられますが 77歳とは思えぬお元氣な顔色で調査所時代の移り変わりの想い出を懐かしそうに語っておられました。 在職中はなかなかの酒豪で 酔えば談論風発 いかにも古武士的な品格で 私たちを驚嘆させたものです。 齡77歳にしてなお 昔の氣性が変わっていない元氣さにはただ感嘆させられました。

村田さんは 大正8年当時農商務省の所属であった鉱山局地質調査所（現在の地質調査所の前身）に入所され調査所における測量部門の嚆矢としてその基礎づくりに専念されるとともに 各種の資源調査に参画して多くの実績をあげられました。 昭和14年とくに嘱望されて満州鉱業開発株式会社に転出され 地形課長として資源開発と後進の指導などに献身されましたが ここで終戦を迎えることになったわけです。 昭和21年当時の商工省

地下資源調査所に復歸され 炭田調査会総務主任として余すところなくその敏腕をふるわれ 戦後逼迫した燃料資源 とくに石炭資源の開発に専念されました。

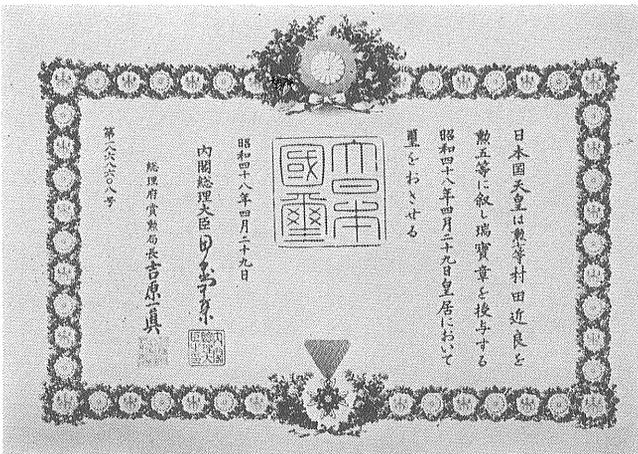
昭和24年地質調査所の機構が改革されると同時に 技術部測図課長として就任され 豊富な知識と経験 卓越した技術に加うるに優れた統率力をもって課員の指導に当られる一方 測図課の再建に並々ならぬ尽力をされました。 また地質調査所の測量業務に写真測量と写真判読技術を導入して 調査能率の向上をはかるなど 地形部門の近代化に意を用いられた先駆者でもあります。

また外部においては 昭和25年建設大臣の諮問機関として設置された測量審議会幹事を委嘱され 答申書の作成に参画されました。 昭和26年には経済安定本部国土調査審議会委員として 各種の調査原案の作成に参画されました。 日本測量協会 および写真測量学会の設立に貢献されましたが これらの協学会の今日の発展は

氏の功績によるところ大なるものがあります。 この事実は 日本測量協会が現在も氏を名誉顧問として遇していることから想像に難くありません。 昭和35年 職を辞されるまで35年の長きにわたって 地質調査所に献身されましたが その間の功績の一端を披露した次第です。

重ねて今回の受賞にお祝いを申し上げますとともに 今後のご健康を祈ります。

現住所 八王寺市千人町 2-5-14
Tel (0260) 61-2884
村田近良



村田近良氏に授与された勲記